

日本共産党杉並区議会議員

くすやま美紀(樟山みき)活動報告

2023. 8. 31 NO. 384

連絡先 荻窪5-15-19-704

☎ 080-5531-8236

区議会控室 ☎ 3312-2111 (内) 2319



↑ ホームページ



施設再編を考えるシンポジウム開催 計画段階から住民参加を位置づけ

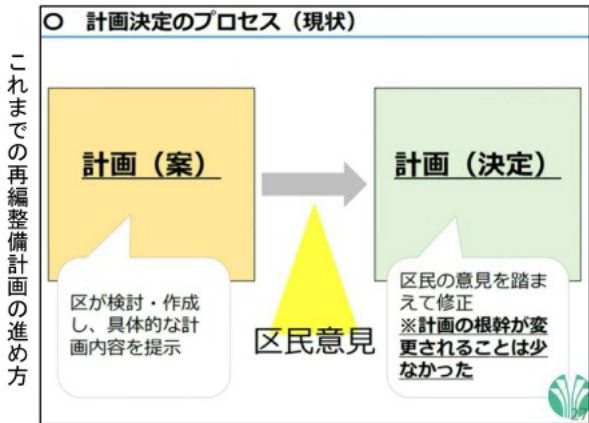
8月12日(土) 施設再編を考えるシンポジウム「区長とともに考えよう「未来へつなぐ公共施設のカタチ」」が開催されました。

今後の区立施設のあり方は 住民参画のもとで検討へ

シンポジウムでは、これまでの区立施設再編整備計画の検証や今後のあり方について、区内7地域で実施された住民との意見交換会を経て、これからの取り組みが議論されました。

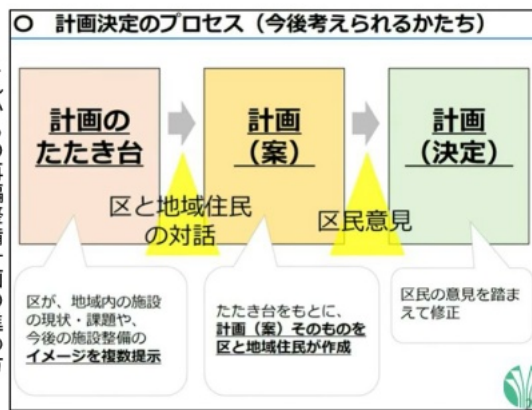
7地域での意見交換会やシンポジウムでは、杉並区が区立施設再編整備計画の進め方に誤りがあったことを認め、今後の区立施設のあり方については、計画策定段階から住民参画のもとで検討することを明らかにしました(下図)。

見直しを求める54件の陳情



これまでの再編整備計画は、行政が一方的に計画決定した施設再編の方針を地域住民に説明するだけのもの、区民意見で見直されることは、ほとんどありませんでした(上図)

区立施設再編整備計画が検討された平成25年度以降、杉並区議会には計画の見直しを求める多数の要望が寄せられ、現在までに54件もの陳情が寄せられています。



これからの再編整備計画の進め方

一つの計画に対して、長期間、これほど多くの見直し意見が寄せられることは前例がありません。区立施設再編整備計画が住民合意無く進められてきたことを端的に示しています。

児童館・ゆうゆう館再編等 問題の検証はこれからの課題

施設再編整備計画の進め方が見直されることは前進ですが、一方で児童館やゆうゆう館の再編整備によって発生した問題への検証は不十分であり、これからの課題です。

児童館やゆうゆう館は、杉並区が長年をかけて、住民と共に作り上げてきた施設です。児童や高齢者の拠点としても重要な役割を果たしてきました。これらの施設のあり方については、現場職員、地域住民、学識経験者等も含めた「施設のあり方の再検討」の機会が必要です。

お困りごと・ご相談は、お気軽に上記連絡先まで、お電話ください

国保料の値上げに関するアンケートにご協力ください！

4人家族年収400万円で40歳夫婦と子ども2人

年額**54万7,507円** (杉並区推計)

払えますか？

高すぎる国保料

社会保障なのに異常な連続値上げ

1人当り保険料 (年額 区長会推計)

年度	1人当り保険料
2023年度	18万2171円
2022年度	17万1380円
2021年度	16万5868円
2020年度	16万2152円

今年の国保料率は

○均等割り額

年額 1人 76,300円

昨年比 4,400円値上げ

○所得割率 (所得額にかける)

11.79%

昨年比 0.15%増

杉並区から今年度の国民健康保険料の請求をうけとり、多くのみなさんがあまりの高さに驚き、怒りを感じたことだと思います。異常な国保料値上げをストップさせる力は区民のみなさんの声です。日本共産党区議団は、みなさんの声を杉並区に示し、財政責任をもつ国と東京都に値下げの努力を迫るとともに、区としても最大限の努力を求めます。

国保料の暮らしへの影響、国保料への意見、要望など、QRコードからアンケートにお答えください。切手不要のハガキもご用意していますので、必要な方は080-5531-8236 (くすやま美紀) までご連絡ください。

ご協力よろしくお願いたします。



◆国民健康保険料はなぜ高い？

⇒国、東京都の財政削減が値上げの原因！

そのうえ、杉並区の一般会計からの支援まで廃止を迫る！！

高い国保料が生活を脅かす異常事態が続いています。その最大の原因は、国と都が国保運営への財政投入を大幅に削減してきたことです。

そのうえ国は自治体にたいし、保険料を抑えるための一般会計からの繰入を削減・廃止するよう求めています。繰入をなしにしたら国保料はさらに上がります。日本共産党区議団は、区に対応を迫るだけでなく、東京都に財政支援の大幅引き上げを直接申し入れてきました。

第3回区議会定例会 9月11日(月)から始まります

9月11日(月)から、杉並区議会第3回定例会が始まります。

私は、国民健康保険、住宅施策について一般質問に立つ予定です。

高い国民健康保険料の抑制に向けて、みなさんの声が大事になります。国保に加入されている方は、ぜひ上記のアンケートにご協力ください。また、今度の定例会では、昨年度の決算を審議する決算特別委員会も行われます。党区議団は、区内で活動している様々な団体とも懇談を重ねてきました。みなさんの要求実現に向けて、がんばります。